

## 第15回服部商店勉強会

第15回服部商店勉強会を3月5日（土曜日）AM10時～AM11時の一時間の日程で開催しました。今回はアメリカ広葉樹の仲間で承知されている方が少ないブラックアッシュ材の原木を製材の製材を見ていただきました。

今回も関東から来て頂きました。大阪府・京都府・奈良県・兵庫県・滋賀県・和歌山県を含めると7府県のおおよそ30名の方にアメリカ広葉樹の本当のお話を聞いて頂いたのではないかと考えています。

- 1、ブラックアッシュの親戚に当たるホワイトアッシュが病虫害（エメラルドアッシュブリーチ）の影響で数年先に日本に入荷しないのではないかと予想されている情報。
- 2、国産材の樹種でタモに一番近いのはブラックアッシュであること。
- 3、ブラックアッシュはタモに似ているが、タモの代用として使用しないでください。理由は下記の2点です。アメリカ広葉樹の仲間で決して蓄積量が多く無い事と価格はホワイトアッシュより高めであること。
- 4、小生がブラックアッシュ材を取り扱う理由。これは2つの目的があります。一つめはアメリカに直接買い付けに出掛けているのだから、全ての樹種に習熟度が有ること。二つめは小生が、普通の材木屋であることです。服部商店の仕事とは、提供出来る全ての商材とそのバックボーン（資源情報・価格・仕様・色合い等の正しい情報）を正確に伝える事です。建築士さん等のユーザーに正しい情報を提供できれば、神様の贈り物の無垢材がもっと購入しやすい状況になり、もっと身近な存在になれば、大手プレハブメーカーと大手ホームセンターに対抗出来る唯一の手段だと考えています。



7枚の写真の中に服部商店の企業秘密が満載です。しかしこの情報をオープンにすることこそ真の広葉樹を扱うお店になると小生は考えています。

最後に30名以上の方が参加して頂いた事に感謝を申し上げますと共に来年度以降もやり続けることこそ以外に広葉樹の専門業者を名乗れる資格はないと再確認しました。

**木を必用としているユーザーさんに本当の事を伝える事と、本当の事を聞き入れる耳を持って頂ける事は非常に難しい作業だと思っておりますが、この作業をどんな困難が有っても続けていくのが小生の仕事だと思っております。**

## アメリカ買付けも甘くはない。

『甘くない』これが今回のアメリカ出張の内容をわかり易く説明するのにふさわしい表現だと思います。裁判の主文では有りませんが、この一つの言葉で多分解っていただけたと思います。

最初に買い付けに訪問したウイスコンシンは昨年3月・昨年12月・今年3月と3回目でした。有る意味先方のCEOとは言葉は完全に通じていないかも知れませんが、コミュニケーション出来ていると思います。従って今回の目標『ホワイトオーク・ウオールナットの混載で1コンテナ』は無事達成しましたが、問題は次のオハイオで勃発しました。

オハイオはホワイトオークの良質産地です。そこで高品質の同材の購入が目的だったのですが、それが空振りになりました。先方の副社長は服部さんが来る1週間前に台湾人が来て大方の良質材↓を殆ど買い付けて、その後中国人がきて残り全部を買い付けたと弁解の弁をしていました。小生は10日前にE-mailを送っていました。内容は『欲しい良質のホワイトイオーク原木の用意は出来ますか?』こんな質問でした。そして先方の日本人スタッフからの報告は、『服部様、いつもお世話になっております。オハイオのホワイトオークの件、現場の報告によれば数量的には沢山あるとは言えないが良い産地からの良材を集めているとの報告が来ております。』という情報でした。

ウイスコンシンを訪問した時は上の情報が入っていませんでした、もしオハイオのシッパーが正確な情報

をウイスコンシンに到着した時に小生に連絡して頂いていたなら、ウイスコンシンでの、買付け数量は大幅に変化して、ホワイトオーク・レッドオーク・ブラックウオールナットで2コンテナになっていたのではないかと考えています。確かにオハイオエリアのホワイトオークは超一流の産地です。しかし価格も高いです。ウイスコンシンの産地は少し劣りますが、今回は前回と違いオハイオエリアまでの品質には及ばないが、それなりの品質だったと思います。

(品質の劣るホワイトオーク↑ ↓ 全く材の無いオハイオエリアのヤード)

今シーズンは超温暖化の影響が最大限に出たのがホワイトオークの良質産地のオハイオ・インディアナエリア地区だったかも知れませんが、それは言い訳になります。アメリカ広葉樹をこれから服部商店のメイン商品にしていこうとしている以上、こう言う状況に陥ってもやっていける状況を作るのが服部商店の社長の使命です。





次に訪問したのはペンシルバニア・エリアです。ここではブラックチェリー材の特選原木を買い付けが仕事だったので、その仕事は無事果たしたと思います。

日本に入荷している他社のペンシルバニア産のブラックチェリー原木より上級品質材だと思います。

数量は10本で1コンテナです。殆どが長木で直径が20インチ上の大径原木です。

ところで買い付けした業者は前回昨年の12月に買い付けしたシッパーと同じペンシルバニアの違うシッパーです。シッパーを変更したのは約束『素早いデリバリー（速く積んで日本に送り届ける事）・材の痛み防止の為に木口にワックスを塗布する事。』を守ってくれなかったからです。

日本人以上に約束を守るのがアメリカ人だと聞いていたので、1回の取り引きで仕入先を変えるのは小生の性格からして残念では有りますが、これは会社の為に仕方が有りません。

日本国内のブラックウォールナットの流行はもう最盛期は過ぎたと思っています。国内のマーケットにブラックウォールナットと言う楡・オーク色でもなく、タモ色でもない一定の需要が出来たのを否定するつもりは有りませんが、有る意味ブラックチェリー色と言うマーケットが今後できるのではないかと小生は予想しています。価格的にもウォールナットよりリーズナブル（産地はペンシルバニアが一番ですが。他の産地も多く蓄積量は有るし、少し品質的に劣るが価格はリーズナブルです。）です。日本人の好むサクラ色に一番似ています。日本のサクラとブラックチェリー材は全く違う種類です。

最後にペンシルバニア東南部の別のシッパーとメリーランドのシッパーを訪問しました。2社とも初めての訪問でした。又急遽の訪問でしたので、買い付けにはなりませんでした。



左上の写真は調材しているホワイトオーク原木（数量は1/3コンテナ分）です。販売先が決定していない様子ですが、販売先は有る程度目星が付いている感じでしたが、しかし此れだけの数量ではコンテナ1台にはなりません。左下の写真は調材する前のホワイトオークです。此れを調材してくれて上の様なホワイトオークにしてくれれば商いは成立したかも知れませんが、小生にこの産地の品質の情報が無い以上話を進めるのは危険なのであえて話を進めませんでした。仮にこの出張に来る1ヶ月程度前にこのシッパーにハイグレードのホワイトオーク1コンテナ分のオーダーをしていれば購入に至ったかもしれません。

ここで見せてくれたホワイトオーク原木の品質が小生の欲しい品質以上の材で有ると直感でひらめいていたら積極的に動いたとおもいますが、そのグレードに達していなかったとも思います。

今シーズンのアメリカ材の仕入れは終了しました。全部で12月が5コンテナの買い付け、3月が2コンテナの買い付け合計7コンテナですが、この結果には必ずしも満足はしていませんが、やり切ったと言う爽快感は小生には有りません。この間の反省点・成功した点等を検証して次のシーズンの為の青写真の作製はもう始まっています。

自分で自分を採点するのは凄く難しい作業ですが、最初から70点の目標設定なら爽快感は無かったと思います。100点の目標が有ってやりきって70点なら上々と思うのは自分に甘い採点でしょうか。この結果は今後販売する服部商店の商品を見てください。それが皆様方に本当の事を知っていただけると事と信じます。アメリカ全体が温暖化の影響を受けているのでは有りませんが、ことホワイトオークの上級材がその影響を最大限受けた樹種で有ったことは間違いない事実だと思います。

## 今シーズンのクライマックス・北海道旭川銘木市

3月19日にアメリカから帰国し休む間もなく3月25日に北海道旭川にて開催された第394回北海道産広葉樹銘木市に参加してきました。今回の市には今シーズン初めてロシア産タモ・ナラ材が出品されました。

出品数量はタモが約100M3・ナラが14M3の僅かでした。出品数量が極端に少ないせいか、原木の市況とエンドユーザーの市況とマッチしない超原木高の製品安の様な感じでした。出品された原木の品質は全体としたら凄く良い品質だったと思います。ただ原木の大きさは68センチ上の太い原木は有りませんでしたし長さは長い材も4メートルまでの材しか有りませんでした。

小生はタモ10本ナラ4本合わせてトレーラー1台の買い付けが出来ました。製材もしていないので、結論を軽々には言えませんが、まずまずの結果だったと思います。

アメリカ材のホワイトオーク材が集まりにくいと言う情報は日本中の木材を扱っている業者全てに共通の話題でしたので、本当はナラ10本。タモ4本が買い付けの理想ですが、何分出品数量の割合と小生の欲しい割合がまるっきり反対なので仕方がないと思います。4月以降もロシア材の入荷は予定されていますが、現実に4月から6月に開催される今期の残りの3回の市に出品されるかは不透明です。理由は、出品者は4月から6月の市の開催だけを考えているのではなく、9月から12月に開催予定の市も想定にはいつているからです。エンドユーザーのマーケットがもう少し好転し高い原木価格を製品価格にオン出来る状態が4月以降来ればロシア材は出品されると思いますが、小生の30年間の経験から考えると極僅か50M3程度の出品は有っても100M3以上の出品は無いと思います。



雪が無くなったら原木の下見はしやすくなりましたが、ロシア材以外、入札に参加する材は全く有りませんでした。4月以降3回の市は有りますが、ごく一部の御客様に御注文を頂いている樹種以外は今シーズンの広葉樹は終了しました。



アメリカと国内の二つ買い付けを行なっていますが、来年度以降益々アメリカ材のウエイトは増えると思います。今月の様にロシア材が潤沢にしかも価格が安定したら、アメリカ材より高品質のロシア材を主体に扱いますが、そうでない以上アメリカ材をメインにしていくこと以外に選択主はないと思います。

上記の写真の説明をします。上の段左が入札会場です。右が展示場です。下の段左から小生が買い付けたナラ原木・ナラ原木・タモ原木です。

アメリカ出張でホワイトオーク材の入手が今期困難なっている情報を得ていましたが、この状況は今シーズン最大の特徴です。日本中で一番ホワイトオークの原木を扱っている業者の専務も仰っていました。

と言うことは現在でもナラ・オーク系の材の流通数量は限りなく少ないです。小生も大変苦勞しましたが、在庫と今期仕入れたアメリカ材のホワイトオーク・レッドオークと僅かでは有りますがロシア材を上手く提供できれば、決して服部商店の大事な御客様にはご迷惑を掛けないですむと思いますし、同業ライバルより数段高品質の材の提供も今までどおり可能ですのでご安心下さい。

\*一つ大事なお願いが有ります。在庫は豊富に有りますが、こんな仕入状況では材の御見積り期間を1週間とさせて頂きます。申し訳有りません。